

U 67 Set



1960年代のサウンドを定義したチューブマイクロフォン そのオリジナルが復刻

- ◆ クラシックな真空管回路と平衡型トランス
- ◆ 3つの極性パターンのバランスのとれたサウンド
- ◆ 細心の注意を払いオリジナルの仕様を再現
- ◆ ドイツで手作りされたビンテージケース

何度も模倣されながら、誰も再現できなかったオリジナル

1960年に発売されて以降、U 67は現代音楽の形成期を通じ、スタジオにおける主力のマイクロフォンとして幅広く活躍しました。いま、U 67だけが持つ滑らかなサウンドはかつてないほど需要が高まっています。そして数十年ぶりに、Neumannのこの伝説的なチューブマイクロフォンが、オリジナルの仕様のまま復刻しました。

RETURN OF A LEGEND

傑作として名高いNeumannのU 47の後継機が、それにふさわしくないようなマイクロフォンでは普及することはなかったでしょう。ですがU 67はスタジオの新しいスタンダードとしてすぐに浸透しました。前機種より優れた点がいくつもあったからです。選択可能な3種類の極性パターン、高度な真空管回路、ローカットとパッドスイッチ、これらがNeumann U 67をあらゆるレコーディングに十分に対応可能なマイクロフォンとして確立しました。そしてそれは今でも変わることはありません。今でも、多くのトップクラスのエンジニアが「もし無人島にマイクを1本持っていくとしたら」という質問への答えとして、驚くべき汎用性と比類ないサウンド品質を備えたU 67の名を挙げています。

Neumann エンジニアリングの頂点

U 67は、あの名高いK 67カプセルを搭載したはじめてのマイクロフォンです。K 67カプセルは「Neumann サウンド」と結びつけて語られるようになり、U 67の後継機種であるU 87Aにも搭載されました。同じく忘れてはならないのが、U 67の見事なプリエンファシスとデエンファシスによるヒス音の最小化を実現した傑作真空管回路です。そしてU 67は、クローズマイキングをはじめとする現代のレコーディング技術に対応したはじめてのマイクロフォンでもあります。近距離のレコーディングで生じる近接効果を補正するローカットフィルターの切り替えが可能で、プリアッテネーションを使うことで、U 67は最大124 dBの高い音圧レベルを歪みなしに扱えます(若干の「真空管のざらつく音」を許容できればそれ以上も可能です)。

時代を超えたサウンドと技術設計、外観デザインを兼ね備えます。U 67のコーン型ボディとテーパ型ヘッドグリルのエレガントなデザインはソリッドステートの後継機、U 87に受け継がれ、50年以上にわたりNeumannブランドの象徴となっています。

用途

U 67はユニバーサルな汎用スタジオマイクロフォンとしてあらゆる用途に最適です。滑らかなトップエンドとわずかな真空管のシマーが、U 67をボーカルマイクロフォンの傑作機として確立しております。無指向性、カーディオイド、双指向性の3つの極性パターンにおいて基本的にリニアな応答特性を持っているため、U 67は弦楽器や木管楽器、金管楽器、ピアノ、ドラム、アコースティックギター、エレキギター、ベースギター、アップライトベースなど、あらゆる楽器に対応した非常に汎用性の高いマイクロフォンでもあります。

歴史は繰り返す

復刻したU 67のサウンドは、1960年～1971年にかけて作られたU 67と同じものです。両者は同じカプセルと電子設計で作られています。BV 12出力トランスフォーマーをはじめとする重要部品は、オリジナルのU 67の設計図を元に、細心の注意を払って再現されています。EF 86の真空管は、最適な特性と最小ノイズを達成するため、専門の測定機関で慎重に選ばれています。また、今日の厳しい安全要求を満たし、新しいプレミアムグレードの真空管の若干高くなったフィラメント電流に適合するように電源の再設計を行いました。電源NU 67 Vは、古いU 67マイクロフォンにも完全に対応しています。



最大 SPL 124 dB

S/N 比 77 dB

感度 24 mV/Pa



ニッケルのU 67 Setは、ビンテージケースにエラストックサスペンションとケーブルが付属した製品です。

また、電源ケーブルを含めた電源「NU 67 V」が同梱されます。

U 67 Set